

# もおか

第7号  
令和5年12月発行

編集/発行：真岡市教育委員会 学校教育課教育政策係  
TEL：0285-81-9052 FAX：0285-83-4070

〒321-4395 栃木県真岡市荒町5191番地  
E-mail: [gakkoukyouiku@city.moka.lg.jp](mailto:gakkoukyouiku@city.moka.lg.jp)

バックナンバーは  
こちらから!

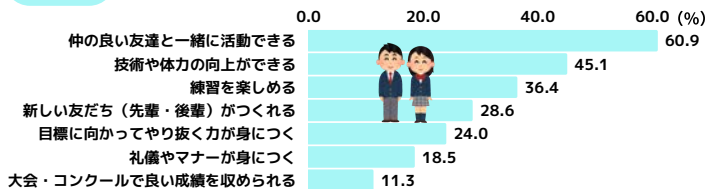


- 目次
- P1 中学校部活動 今後のありかたについて
- P2 心を育てる 学校司書のおしごと
- P3 もおかっ子 夏の活動報告
- P4 学校紹介 (久下田中学校) 学校の働き方改革

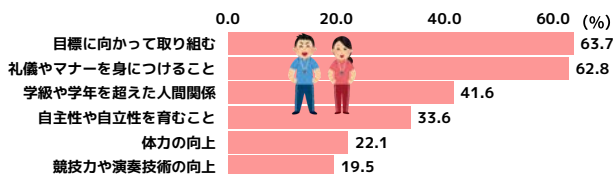
## 中学校部活動 今後のありかたについて

中学校で行われている部活動は、これまで、体力や技能の向上、人間関係の構築、責任感、連帯感の育成など、生徒の多様な学びの場として大きな役割を担ってきました。しかし、少子化による生徒数の減少、生徒・保護者のニーズの多様化、教育に関わる課題の複雑化・多様化による教員の負担増加などにより、部活動のありかたを検討する必要性が出てきました。文部科学省は、持続可能で多様なスポーツ・文化活動の環境を整備し、生徒がさまざまな体験をする機会を確保できるよう、令和5年度から3年間を「部活動の地域移行」の推進期間とし、地域の実情に応じて対応するよう求めています。これを受けて、真岡市では、子供たちファーストの部活動改革をスタートさせるために、中学生、保護者、教職員を対象にアンケート調査を実施しました。

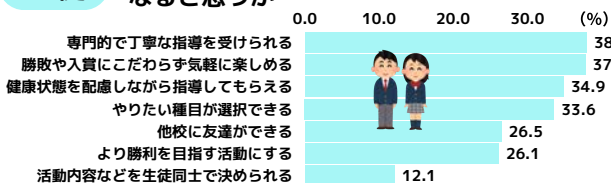
### 生徒 部活動の良いところ、満足しているところ



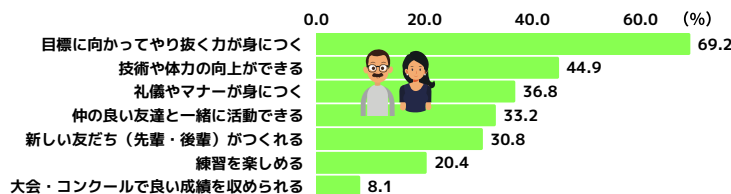
### 教員 部活動の指導を通じて目指していること



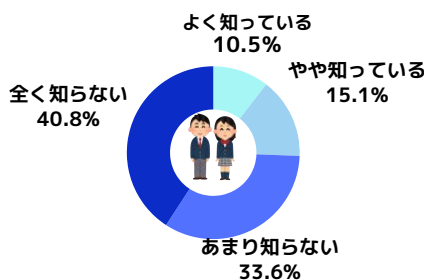
### 生徒 どんなスポーツ・文化活動ならより満足できるものになると思うか



### 保護者 子供の部活動にどんなことを期待しているか



### 生徒 スポーツ庁・文化庁で部活動の地域移行を推進していることを知っているか



調査対象：市内中学1～3年生及び保護者、教職員  
実施時期：令和5年7月18日～8月末日  
調査方法：学校から配布された二次元コード付きチラシよりWeb回答  
回答数：生徒745名 保護者375名 教職員114名

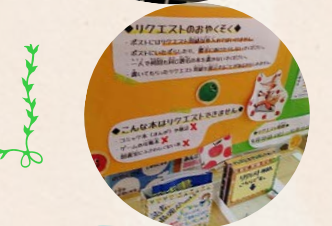
詳しくは教育委員会の  
ホームページを御覧ください



真岡市では、生涯にわたって誰もが充実したスポーツ・文化活動に親しむことができる環境づくりを目指し、中学校部活動のありかたについて検討を進めていきます。

# 心を育てる 学校司書のお・し・ご・と

真岡小の図書室の様子を取材しました



真岡市では、学校図書館の充実を図り、読書活動を通して児童生徒の創造力を養い、豊かな心を育てるとともに学ぶことへの興味・関心を高めるために、市内小中学校に学校司書を巡回配置しています。  
児童生徒の読書活動を支える学校司書の取組を紹介します。

## 学校司書からのメッセージ

「本は心の栄養」と言われています。本を読むことで得られる知識や感情が子供たちの心を育みます。

「遊園地」を楽しむような感覚で色々な本に出会い、体験してみませんか？元気になる本 = ジェットコースター。癒やされる本 = メリーゴーランドなど。色々な心情を感じることができます。

櫻井さん（山前小/西田井小/中村小/大内東小に勤務）

「読書は楽しいもの」と思ってもらうことが私達の願いです



学校司書のみなさん

小説だけではなく、色々な分野、興味のある本を探して読んでみるのもおすすめです。

外出した時の待ち時間も、本があれば、充電を気にせず、あっという間に時間が経つという素晴らしさもあります。ぜひ、お気に入りの本と出かけてみてください。

藤田さん（真岡中/山前中/中村中/物部中に勤務）

## 読書を楽しむための3つのカギ

- ① 心と体が健康であること
- ② 文字が読めること。文字を読むためには学校の勉強も大事
- ③ 普段の生活を大切に過ごすこと。人との関わりや経験が想像力を育みます。

小島さん（真岡西小/龜山小/長田小に勤務）

- ・本の貸出
- ・授業で使用する図書の準備
- ・調べ学習のサポート
- ・本の紹介や読み聞かせ
- ・図書室の環境整備（飾りつけ）
- ・新刊図書の受け入れ
- ・本に触れる機会を増やすためのイベントの企画 等

先生方や図書委員会の子供たち、図書ボランティアの皆さんと協力しながら工夫して活動しています。

図書室で本を借りる時の子供たちの顔は、ニコニコして本当に嬉しそうです！忙しい毎日ですが、ほんの数分でもお家の人と読書を楽しむ時間をもてると、心がほっこりしますよ♡

前田さん（長沼小/久下田小/物部小/大内中央小に勤務）

## ～子育て中に読んでほしい1冊～ 司書の五月女さん オススメの本



「あんなにあんなに」  
文・絵 ヨシタケシンスケ  
出版社 ポプラ社



「あなたのことがだいすき」  
文・絵 えがしらみちこ  
原案 西原 理恵子  
出版社 KADOKAWA

子供たちが自然に本に触れる機会をつくるために、「図書館で応援合戦」など、校内でさまざまなイベントを企画しています。図書ボランティアの皆さんの協力により、昼休みの読み聞かせには、100人以上の子供たちが訪れます。

本を読むことにルールはありません。リラックスするための時間として、好きな本、興味がある本を見つけてから始めてください。

五月女さん（真岡小/真岡東小/大内西小に勤務）

スキルアップを目指し、ブックトークやビブリオバトルなどの研修を行っています

# もおかっ子☀️夏の活動報告

## 学校 教育課



7/26~27

**小学生プログラミング体験教室**  
真岡工業高校の協力でプログラミングの基礎を学び、ロボットを動かすプログラムを作成しました。



8/1~2

**イングリッシュ・サマーキャンプ**  
外国人AETと、英語を使って「ワールド・ツアー」「ミッションお買い物」などの活動を行いました。



7/29~8/1

**歴史資料保存館一般公開**  
真岡市の歴史や昔の学校の様子を知り、昔遊びを楽しみました。

## 生涯 学習課



7/22

### 中学生御輿

9校それぞれが力を合わせ、夏祭りを大いに盛り上げました。真岡西中学校は姉妹校正心高級中學の生徒と共に参加しました。



7/25~29

### 夏休み子ども将棋教室

小学生が将棋の初歩をわかりやすく学び、将棋の楽しさを体験しました。



8/3

### 子ども議会

中学校全9校の代表21人が参加し、中学生の目線から様々な提言を行いました。

## 科学教育 センター



8/30

**サマーラボMOKA for サイエンスガールズ**  
女子小中学生に理工系分野の楽しさを伝える体験教室を開催しました。発砲入浴剤の泡の正体を実験して調べた後、アロマバスボム作りを楽しみました。

## スポーツ 振興課



7/15

### わんぱく親子スポーツ教室

トランポリンやスマイルボウリング、輪投げ、ディスクゲッターナインなどのニュースポーツに親子で挑戦し、楽しく体を動かしました。



## —真岡市の文化財— NO.4

# 旧石器時代：磯山遺跡（真岡市指定史跡）

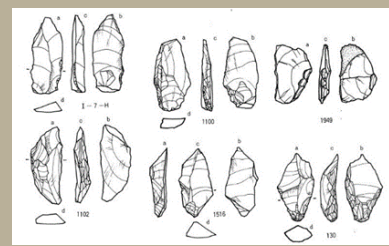
東大島にある磯山遺跡は、人間が土器（縄文土器）を使い始める以前の旧石器時代の遺跡です。昭和30年代に東北大学の芹沢長介教授により発掘調査が行われ、2万数千年前の地層から多数の石器と石の破片が見つかりました。

見つかった石器と石の破片は接合し、この遺跡で石器が作られていたことがわかりました。この石器の製作方法は「磯山技法」、作られた石器は「磯山型ナイフ」と呼ばれ、旧石器時代研究の指標となりました。

磯山遺跡は「いそやま市民の森」の南はずれにあります。自然豊かな散策路を歩いて、遺跡を訪ねてみてください。



磯山遺跡周辺の様子



磯山遺跡のナイフ形石器



## 中久下田中学校

— 教育目標 —

- 意欲的に学ぶ中学生（知）
- 思いやりのある中学生（徳）
- 明るく健康な中学生（体）
- 進んで働く中学生（勤労）



久下田中のHP



旧校舎（昭和26年頃）

久下田中学校は校訓「真誠」の下、清く正しく美しい心、真誠（まこと）の心を育て、正しい判断力とたくましい実践力の育成を目指しています。授業や行事等で主体的・自主的に判断し行動できる生徒の育成に努め、目標をもって自ら考える力を伸ばし、生徒主体での校則見直しなどを行いました。また「地域とともにある学校づくり」として、学校と保護者、地域がパートナーとして連携・協働しながら学びを展開していくことを目指しています。学校支援ボランティアの方々にご協力をいただき、いろいろな活動を実施しています。特に郷土芸能「糸取り唄」は、在校生と卒業生、地域の指導者がともに協力して伝統を引き継いでいます。



考える授業



生徒による校則見直し



郷土芸能（糸取り唄）



ハーヴェイ市との国際交流



運動会



ICTを活用した生徒集会



ボランティア（梅ジュース作り）



地域清掃活動（ちょボラ）

## —学校における働き方改革を推進しています—

### 子供たちのより良い教育のために

文科省は教師のこれまでの働き方を見直し、子供たちに対してより良い教育を行うことができるようにするために、できることを直ちに行うという考え方のもと、取り組むべき施策を提言として示しました。

例えば...

登下校の見守りは地域のボランティアが行い、保護者や地域住民の理解を得つつ、定められた登校時間より著しく早く登校してこないようにするなど、朝の業務の負担を軽減する。

休み時間の見守りや校内の清掃は教員業務支援員などの支援スタッフとの役割分担を行う。

授業時数や運動会の入場行進を省略するなど学校行事で慣例的に続けられてきたものを見直す。

などがあります。

教育委員会として、市内各校の実情に応じて、できるところから取り組むように働きかけをしていきます。 <参考> 「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策（提言）」（令和5年8月28日 中央教育審議会 質の高い教師の確保特別部会）



真岡市の学校における働き方改革はこちら



教師が児童生徒と向き合う時間を確保するために、ご理解とご協力をお願いいたします。

もう一步努力するところ おもいやりのところ かんじ、考え、学ぼうとするところ

皆様のご意見ご感想をぜひお寄せください。 アンケートはこちらから！  
「教育委員会だより 第8号」は3月発行予定です。

